

 <p>(門徒会報)</p>	<p>令和4年7月1日 発行</p> <p>第 86 号</p> <p>高岡市中川1-6-8</p> <p>光慶寺門徒会</p> <p>☎ 0766-22-3243</p> <p>FAX 0766-30-4610</p>
---	--

## 「本龍寺第14世住職継職奉告法要を終えて」

本龍寺住職 冨永 誠



去る3月27日(日)午前10時、本龍寺本堂にて住職継職法要を行い第14世住職を拝命いたしました。

参拝された門信徒の皆様におかれましては、このコロナ禍の中、多くの方々に足を運んでいただき、満堂の中で継職法要を行えたことは、私の人生において一生忘れることのない宝物となりました。この宝物を皆様から与えていただけたこと、紙面を借りて心よりお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。ご都合により来られなかった皆様からも月参り等でお祝いの言葉を頂戴し、住職継職の喜びが当日だけでなく現在も続いている状況に嬉しく思います。

この法要を迎えるにあたっては、当初の予定より3年遅れましたが、組内寺院の方々や世話方の皆様には、前日までの準備をはじめ当日の司会や座席の誘導、法要記念品、弁当・飲み物の配布等をしていただき、感謝に堪えません。

立徒山本龍寺は、「1719年、本坊である光慶寺第11世住職了寿氏の二男恵仁が門信徒の皆様のご支援によって佐賀野村(現在の高

岡市佐加野)にて建立されました。その後博労町へと移転しましたが火災に遭い、1897年に今の所在地である末広町へと移転。1924年に本堂が新築され、2001年には本堂瓦の葺き替えと庫裏(住居部分)を新築し現在に至っております。また山号である立徒山(りっとさん)は、光慶寺様とその門信徒の皆様で建立された寺院ということが由来であり、現在もこれまでと変わらない状況に深く感謝致します。

継職法要の最初に読み上げました表白(ひょうびやく、新住職の決意表明)では、「光慶寺様と門信徒の皆様のご助力を得て、『みのりの法灯』を絶やさぬようにひたすら努め、仏祖のご加護を仰ぎつつ自信教人信の歩みを重ねること」を述べさせていただきました。そして、ここからがスタートです。皆様お一人お一人が心より浄土真宗のみ教え・お念仏に出遇えて良かったなと思っただけのように、皆様と笑顔で語り合い、時には議論を交わしながら、これまで以上に親密な関係を築きたく日々精進してまいりたいと思います。

今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

合 掌

## ダーナってなあに

ダーナとは、仏教語で「布施」(<sup>ほどこし</sup>施)のことで、法施(真実の仏法を伝え広める)、財施(金品を分かち合う)<sup>む い せ</sup>無畏施(恐れを除き、癒しと勇気を与える)<sup>む ざい</sup>無財の七施(<sup>しち せ</sup>思いやり、ささえ合うところ)などに分かりますなかでも無財の七施は、いつでも、どこでも誰でも、自分の出来る範囲で実践出来るものであり、思いやりのある生き方を示すものです。ダーナを行うに当たっては、「させていただいてありがとうございます」と云う気持ちを忘れないようにしましょう。語源はインドです

### 無財の七施

<sup>げん せ</sup>1.眼施(あたたかいまざざし)

<sup>しん せ いつく</sup>5.心施(慈しみ深いところ)

<sup>わ げん えつ じき せ</sup>2.和顔悦色施(にこやかな表情)

6.床座施(人にあたたかい席を)

<sup>ごん じ せ</sup>3.言辞施(やさしい言葉)

<sup>ぼうしゃ せ</sup>7.房舎施(気持ちよく迎えるところがけ)

<sup>しん せ せいいっぱい</sup>4.身施(精一杯のおこない)

-----

# 光慶寺の黒板

高岡市中川一の六の八

「賛嘆」 武者小路実篤

星と星とが賛嘆しあうように  
山と山とが賛嘆しあうように  
人間と人間が賛嘆しあいたいものだ

「慎介」 鈴木章子

生死おまかせの身と 知つてはいても  
如来様との二人連れと 知つてはいても  
慎介と話していると たまらなくさみしくなる  
せめて 慎介の成人がみたい  
大きくなれや 慎介  
強くなれや 慎介

「けんか」 前田淳子

「ごめんなさいね」  
短い言葉なのに  
一番むづかしい言葉  
くやしかったけど だまりこんで  
ふるえる指に力をこめ  
つばきの葉をちぎっていた  
コスモスの花も アカシアの葉も  
みんなみんなかすんでいた

「ものの見方」 新井狼子

上手下手、巧拙、賢愚、貧富、など  
対立的な言い方をするならば  
愚のほうに、貧のほうに、拙のほうに、  
下手のほうに、真実に近いものがある

## 感動しました。 松葉美幸

六月八日 光慶寺の仏婦の総会が開かれた。そのあと、関野組の総会も開催され、はからずも私がお焼香する事となった。ありがたいことでもあったが、とまどいの方が大きく、重い足を引きずり正面に伺いました。涙が出てとまりませんでした。終わってからチャンと出来ただろうかと心配でした。家に帰り息子にこのことを話しましたら南無阿弥陀仏と手を合わせ、感謝する事が今のバアバアに大切な事だと申しました。

いつ頃からか思い出せないけど、息子といると南無阿弥陀仏だよ佛さまだよ言う言葉が口ぐせになっていました。二階の仏だんに朝夕手をつないでおまいりしてくれます。ありがたいことです。これからも感謝の気持ちで日々すごして行きたいと念じていきます。感謝！！感謝！！合掌

… 念仏に生かされるよろこびを行動に。 …

## 光慶寺仏教壮年会活動再開について

仏社会長

今年は天候もよく古城公園の桜・水道公園のつつじがとてもあざやかに咲き誇っていました。

最近県内の新規コロナ感染者数の減少が続いています。制限された諸活動が徐々に元に戻っていくなか安心せず、しっかりと自己防衛に徹しなければなりません。

仏教壮年会の活動も徐々に再開を致してまいります。

11月24日には「親鸞聖人を語る夕べ」(西本願寺高岡会館)2月19日第28回ボウリング大会その他研修会など、皆様のご参加をお待ちしております。

## 祠堂法要ご案内

令和4年

7月15日(金)

午前 10時00分 お日中(読経)

10時30分～11時30分 お説教

7月16日(土)

午前 10時00分 お日中仏婦兼修(読経)

10時30分～11時30分 お説教

※布教(お説教)

五位組 教願寺若坊守 岡西有可師

## 仏教婦人会だより

事務局

コロナも少し納まってきたようで六月には婦人会の初例会も無事開催する事が出来ました。どこか日帰りレクレーションにも行きたいとの意見も出て少し活動も活気付いて来ました。最近デイサービスに通いはじめた友達がびっくりした事。お食事の時に、「いただきます」も「ごちそうさま」も無いそうです。長い年月生きて来て、生活習慣に無かったのか、もう忘れてしまわれたのか、係の方の声掛けが無いのか?この世で一番美しい姿は合掌だと云われています。私達も気づいた時点で早速実行致しましょう。

ありがとう、ごちそうさま、いただきます、お願いね、気持ちがすっきりしますよ。

### 令和4年度 行事予定

7月14日(木) 祠堂経の準備 10時～

7月16日(土) 光慶寺仏婦定例会 祠堂経

8月 お経の話 寺林芳浄 師

9月8日(木) レクリエーション

10月8日(土) 報恩講の準備 9時～

11月9日(水) 関野組仏婦連盟実践運動研修会 光慶寺

10月～11月頃 門徒会・仏婦 合同一泊研修旅行

12月5日(月) ダーナ募金納入期日

12月8日(木) 写経

令和5年

1月27日(金) 高岡教区仏婦連盟新年会  
(ホテルニューオータニ高岡)

2月8日(水) 写経(お手本)

3月8日(水) 写経

3月27日(水)～28日(木)

本龍寺報恩講

**“仏婦会員募集中です”** みんなが楽しく集まって、そっとつながって、ホッがつたわる会にしませんか!!お待ちしております。

○ 祠堂等の申し込み等は事前に教えていただきましたら有難いです。

### 「和慶」の寄稿について

発刊して、86号を迎えました。これからもご門徒さん相互の繋がりを大切に親しめる会報にしたいと思っております。  
・地域の話題・旅行記・俳句・短歌・随筆等お寄せください。 ・光慶寺宛

● 法要・お墓に関するお悩み・その他、お気軽に相談下さい。  
お問い合わせは 電話 0766-22-3243 又は直接、光慶寺までお願い致します。